

■タマネギの秋まき栽培

タマネギは、国内生産量が第4位、おなじみの家庭常備野菜です。

奥行き 22~24cm、間口 60cm のコンテナであれば、2条植えで 10 株収穫できます。早生種、中生種、中晩生種を組み合わせ多めに栽培すれば、5 月から翌年 1 月まで自給が可能です。初心者は苗を買って植え付けることをお勧めしますが、種まきから始めることもできます。

種まきは、関東以西平地で 9 月中旬、東北は 9 月上旬、暖地は 9 月下旬が目安ですが、各地域の適期に従います。早生種はこれより早めに、中晩生種は遅めにします。植え付け用とは別にコンテナを用意し、種の間隔が 0.5~1cm、条間 10cm の条まきにし、厚さ 1cm に覆土して水やりします。発芽したら 2cm 間隔に間引き、種まきから 30 日後にぼかし肥 1 条当たり 10g を追肥します。株元の太さが 5~7mm に育つまで 55~60 日です。

植え付けは 11 月中旬が目安です。条間と株間は共に 12~13cm の正方形にします。苗は多めに用意しコンテナごとに大きさをそろえて植えます。株元の太さが 5mm 程度を標準にし、それよりも太い場合でも鉛筆の太さ(約 7mm)を超えない物を選びます。太いとどう立ちやすく、細過ぎると小さな球にしかありません。植え付け位置に深さ 3~4cm の細い植え穴を作り、葉の分岐部が埋まらないように、下部の白い部分が 3 分の 1 ほど地上に見えるぐらいに挿し込みます。このとき、根が地上に出ないようにします。コンテナには前日までに水やりをしておき、植え付けたら地際を手で強めに押さえます。追肥は 12 月下旬、2 月上旬と下旬の 3 回、ぼかし肥 1 条当たり 10g 施します。水やりは適宜行い、特に生育が旺盛になる 3 月下旬以降は毎日行います。

収穫は、葉が自然に倒れてから、まだ葉が青々している状態で抜き取ります。葉を半分切り落とし数個を 1 束に縛り、風通しの良い日陰でつり下げ保存します。

